

## 「施策」総括票

施策展開	1-(7)-イ	歩いて暮らせる環境づくりの推進	
施策	②住民参加のまちづくりの推進		73頁
対応する 主な課題	○都市の質の向上を図り、住民にとってより身近で分かりやすいまちづくりを進めるため、住民の関心を高める必要がある。		
関係部等	土木建築部		

### I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
	主な取組	決算見込額	推進状況	活動概要
<b>○景観計画・地区計画策定の促進</b>				
1	住民参加型都市計画マスタープラン(MP)策定事業	-	やや遅れ	○都市計画マスタープラン策定を予定している市町村についての取り組み状況やスケジュールなど基礎的な調査を実施したが、取組状況について十分に把握できなかったため「やや遅れ」である。(1)
2	沖縄らしい風景づくり推進事業	19,371	順調	○市町村の景観計画・景観向上行動計画の策定及び景観地区の指定に係る助言等を行った。(2)

### II 成果指標の達成状況 (Do)

#### (1) 成果指標

	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	住民参加による地区計画策定数	42地区 (23年度)	50地区 (24年度)	増加	8地区	-
	状況説明	平成24年度は、宮古島市など8市町村が地区計画を策定したため、地区計画策定数は50地区となった。今後はこれまでの都市計画マスタープラン策定や地区計画策定等における取組状況を踏まえ、方策を検討する予定である。				

様式2(施策)

(2)参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
	6市町村 (22年度)	9市町村 (23年度)	10市町村 (24年度)		
景観計画策定市町村数				↗	—

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

○景観計画・地区計画策定の促進

- ・これまでの都市計画は、住民等が行政の提案に対して意見を陳述及び提出するだけで、受動的であったが、今後は住民等がより主体的かつ積極的な都市計画への参画を可能とするため、各市町村におけるまちづくりに関する情報を収集するとともに、まちづくり活動への支援、住民からの意見の聴取など、きめ細かな対応が必要である。
- ・市町村との意見交換が十分にできなかつたため、取組状況について十分に把握できなかつた。
- ・景観地区の指定に当たっては、地域住民の合意形成が必要なため、合意形成を行う市町村への的確な助言・支援を行えるよう、市町村と密に連携を取りながら実施する必要がある。

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

○景観計画・地区計画策定の促進

- ・近年、景観の向上に対する気運の高まりから景観行政団体数が増加しており、併せて景観計画策定市町村も順調に増加しているが、更なる向上に向け、市町村との連携体制の強化及び市町村職員の景観に対する知識習得を図ることが必要である。

Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

○景観計画・地区計画策定の促進

- ・市町村都市計画マスタープラン策定時の地域住民意見の反映状況を確認するとともに、現状把握のため市町村都市計画担当との意見交換を実施し、現状把握に努める。
- ・市町村を対象とした勉強会や研修などを年6回程度開催し、市町村との連携体制の強化及び市町村職員の景観に対する知識習得に向け取り組む。